

## 働く世代の健康づくり部会における検討について

下記の日程において「働く世代の健康づくり部会」を開催し、計画の中間評価等から把握している「現状」を再度確認した上で、重点課題の解決に向けた取組について意見交換等を行った。

### 1 開催日程等

日 時：令和2年7月30日（木）10時～11時

会 場：広島市役所14階 第7会議室

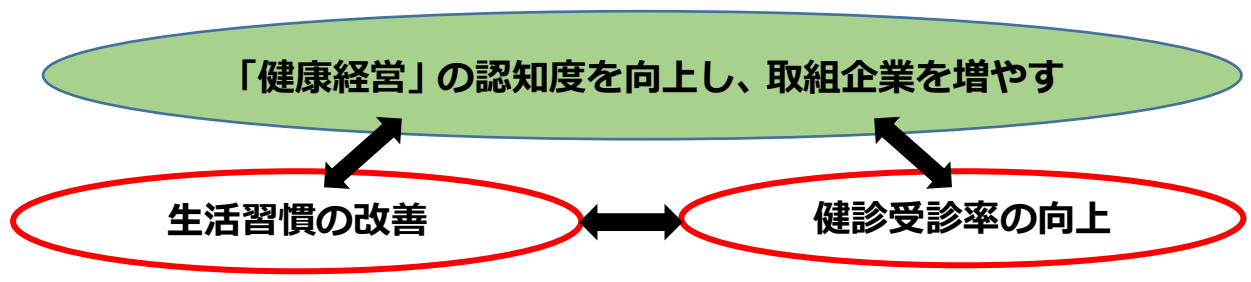
出席者：委員7名、オブザーバー1名（安芸区地域支えあい課）、関係課3名（福利課、精神保健福祉課、精神保健センター相談課）

### 2 議事内容

#### 働く世代の現状（特徴的なもの）

- ① 適切な運動習慣や十分な睡眠がとれていない
- ② 若い世代（40～50代）の健診受診率が低い
- ③ 企業（事業所）においては、「健康は個人で管理するものである」との意識が強い

#### 重点課題・重点取組



#### 重点課題の解決に向けた各団体や行政の取組に関する意見交換等

- コロナ禍のため、これまで行っていた企業における健康教室や企業訪問等が行えない状況が続いている。
- このような中、「健診（検診）の受診」と「インターネットを活用した健康教室や個別相談」は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策との両立が可能な取組である。
- 「健診（検診）」については、各施設が万全の感染症対策をとって対応をしていることに加え、新型コロナウイルス感染症の重症化リスクに「糖尿病」や「肥満」等が挙げられていることから、『この機会に自分の健康を振り返ることが重要』といった PR が可能である。行政からも広く呼びかけるべきである。
- インターネットを活用した健康教室等については、在宅勤務が増える中で、新たな可能性を持っていると考えられる。
- 発信のために準備が必要であったり、活用方法に工夫は必要にはなるが、外出の機会が減少している今こそ、インターネットを活用して発信するべきである。
- 企業はコロナ禍の中、事業継続と雇用維持が第一優先事項ではあるが、在宅勤務の中、限られた時間でも受講できる Web セミナーのニーズは高い。
- 一方、インターネット等の環境が整わない小規模事業所への働きかけも検討する必要がある。